資料４－５

18歳以降の調査に必要な対応及び機能について（案）



環境省
Ministry of the Environment

①持続可能な調査体制に係る課題

環境省
Ministry of the Environment

実施体制の整備

課題

- 研究成果創出促進のための体制強化
- 成果の社会還元・情報発信のための体制強化
- 調査対象者ライフステージの変化及び居住地の広域化を踏まえた、効果的・効率的な長期追跡体制
- 長期的な人員、専門性、施設及びシステムの確保

必要な対応及び機能

- 研究推進と調査運営の適切な役割分担
- 研究体制と運営体制の強化

①持続可能な調査体制に係る課題

環境省
Ministry of the Environment

人材育成

課題

- 人材育成・人材確保

必要な対応及び機能

- 安定的に人材を確保できる体制

②効果的・効率的な調査の実施に係る課題

参加者維持、エンゲージメント

課題

- 参加者成人後の参加継続に向けて、主体的に参加いただくための取組

必要な対応及び機能

- 本人主体の参加継続、説明・同意及び参加者対応
- 調査参加者主体となる取組を加速し、参加者視点を反映することができるような仕組み

②効果的・効率的な調査の実施に係る課題

環境省
Ministry of the Environment

効果的・効率的な実施

課題

・共通業務の分散実施（一部地域特性・年齢を考慮した取組もあり）

・全国的な対面調査等の効率的な実施

必要な対応及び機能

- 広域な調査地域をカバーできる機能

環境省 Ministry of the Environment

効率的な生体試料・データの保管、化学分析の推進

課題

- 効率的な生体試料の保管（現状は手動、外注）
- 災害リスク
- 化学分析に係る実施基盤の制約

必要な対応及び機能

- 膨大な数の生体試料の保管管理利活用に係る効率化
- 化学分析の更なる推進
  - ✓ 入出管理を自動化した保管システム
  - ✓ 化学分析の内製化/自動化
  - ✓ 外部資金による化学分析の検討

環境省
Ministry of the Environment

データ・試料の第三者利活用

課題

- データの第三者利用の推進（第三者提供実績は２件にとどまる）
- 解析環境の機能強化

必要な対応及び機能

- 第三者利用の推進のために、事務局体制の拡充
- データ管理体制の再構築
- 個人情報保護に留意した上で、情報連携を検討

③調査結果の利活用推進に係る課題

環境省
Ministry of the Environment

政策・社会実装への橋渡し、成果の社会還元及び国際連携

課題

・中心仮説に係る研究成果の創出加速

・研究成果の社会還元（政策活用、国民への還元等）

・エコチル調査の国際的プレゼンス向上

必要な対応及び機能

- 国民にエコチル調査の成果を速やかに分かりやすく情報提供する
- 広報機能の強化
- 市民参画の推進
- 外部資金導入の検討
- 国際連携の推進

本日御意見いただきたい事項

環境省
Ministry of the Environment

① 持続可能な調査体制について、必要な対応及び機能の整理は適切か。
② 効果的・効率的な調査の実施について、必要な対応及び機能の整理は適切か。
③ 調査結果の利活用推進について、必要な対応及び機能の整理は適切か。

本日御意見いただきたい事項

環境省 Ministry of the Environment

１．18歳以降の意義について

エコチル調査を18歳以降も継続する意義は何か。客観的な価値、必要性は何か。

２．課題整理について

① 持続可能な調査体制について、課題整理は適切か。
② 効果的・効率的な調査の実施について、課題の整理は適切か。
③ 調査結果の利活用推進について、課題の整理は適切か。

３．必要な対応及び機能について

① 持続可能な調査体制について、必要な対応及び機能の整理は適切か。
② 効果的・効率的な調査の実施について、必要な対応及び機能の整理は適切か。
③ 調査結果の利活用推進について、必要な対応及び機能の整理は適切か。

４．優先順位について

必要な対応及び機能について、特に優先して実施すべきものはなにか。